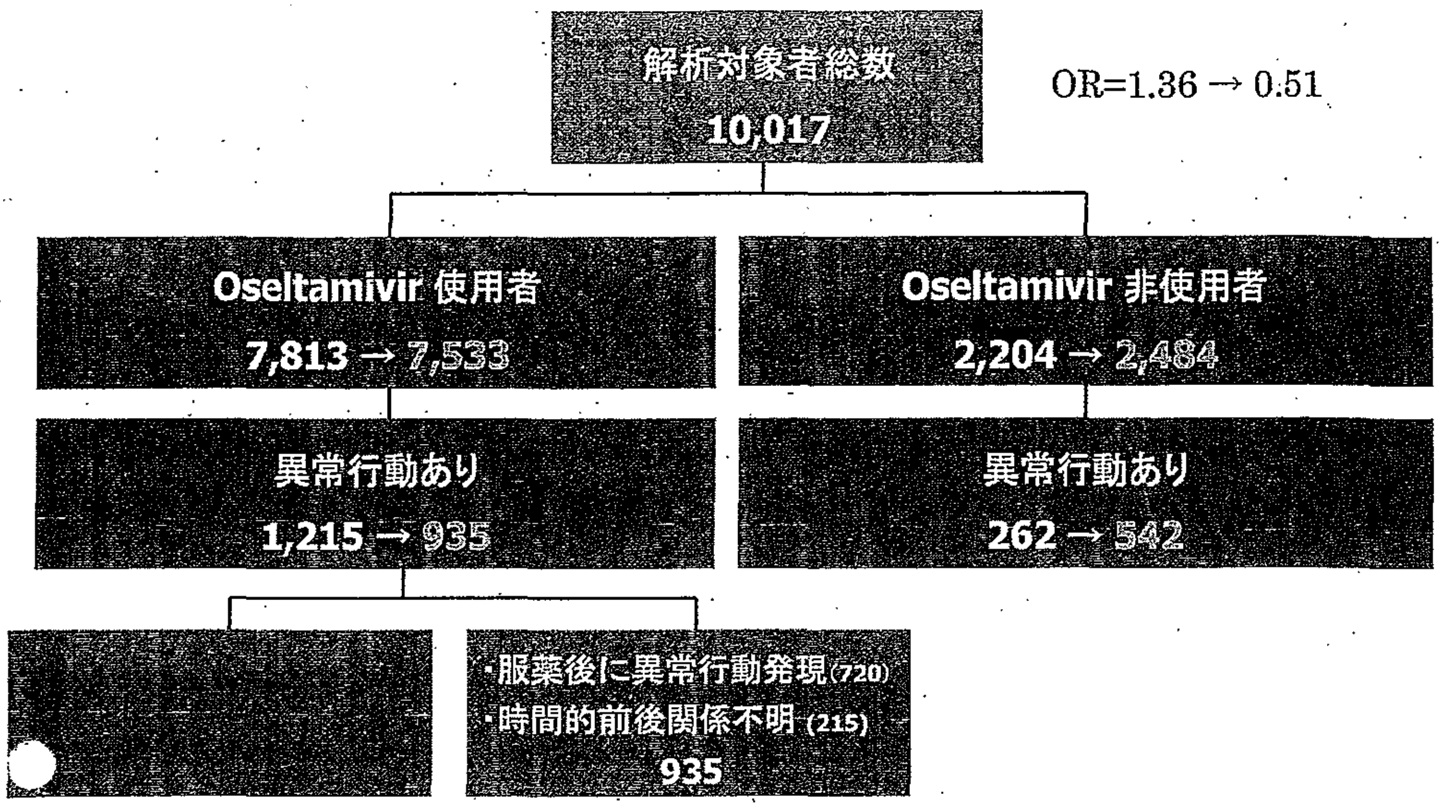
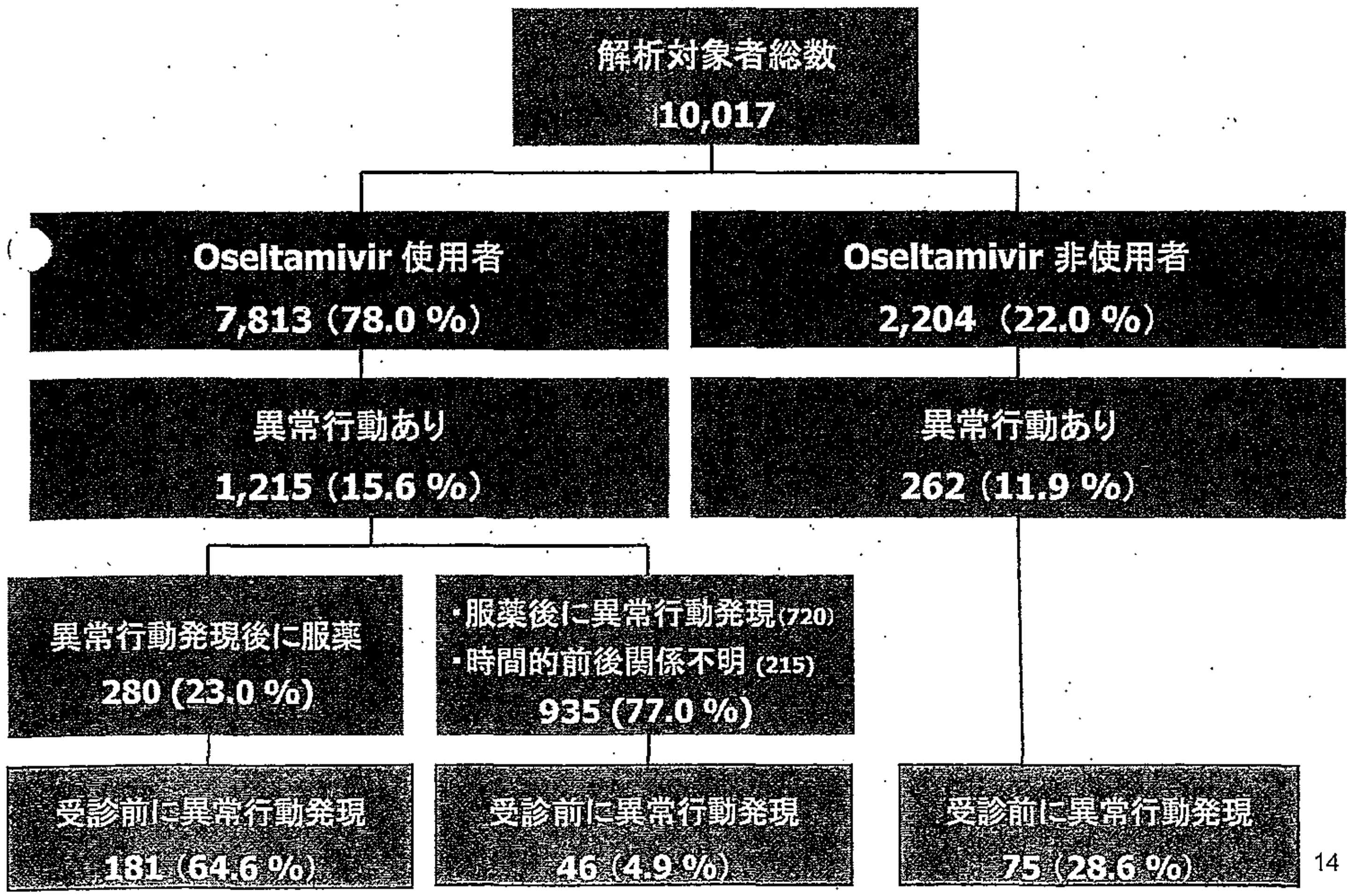


解析対象者総数
10,017
OR=1.36 → 0.51
Oseltamivir 使用者
7,813 → 7,533
Oseltamivir 非使用者
2,204 → 2,484
異常行動あり
1,215 → 935
異常行動あり
262 → 542
・服薬後に異常行動発現(720)
・時間的前後関係不明 (215)
935

13



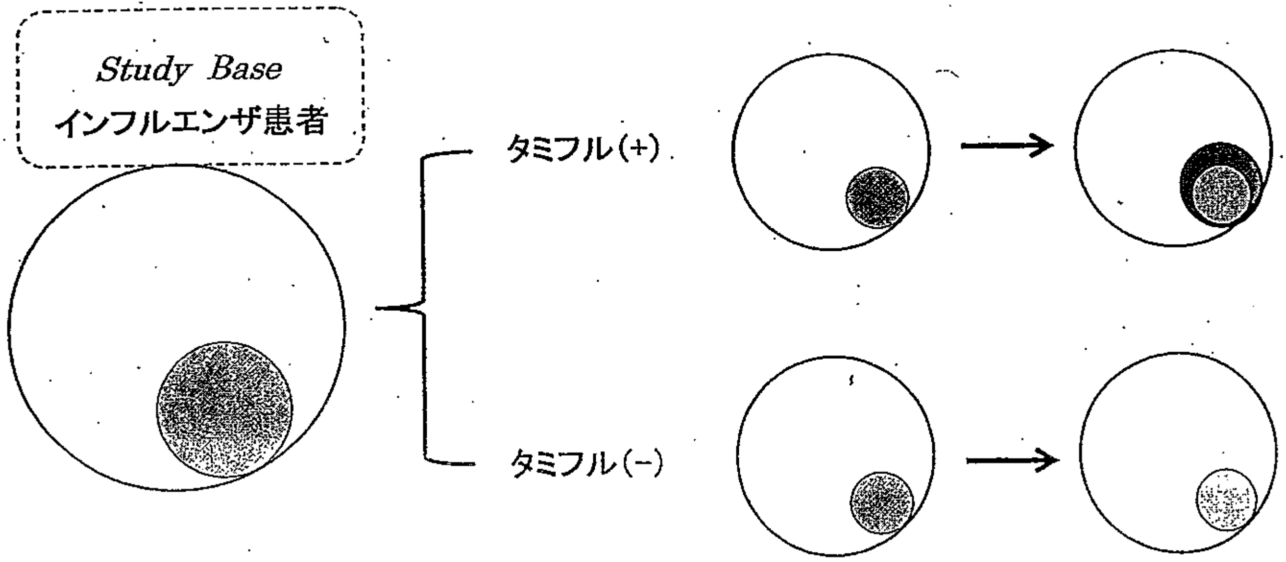
解析対象者総数
10,017
Oseltamivir 使用者
7,813 (78.0 %)
Oseltamivir 非使用者
2,204 (22.0 %)
異常行動あり
1,215 (15.6 %)
異常行動あり
262 (11.9 %)
異常行動発現後に服薬
280 (23.0 %)
・服薬後に異常行動発現(720)
・時間的前後関係不明 (215)
935 (77.0 %)
受診前に異常行動発現
181 (64.6 %)
受診前に異常行動発現
46 (4.9 %)
受診前に異常行動発現
75 (28.6 %)

14

報告内容

1. 平成 17・18 年度横田班の調査
2. 平成 19・20 年度現研究班
   データベース作成、および解析開始
3. <u>Selection bias と解析の枠組み</u>
4. 小児科医による自由記載欄の精査
5. 解析実施、および結果
6. 結論と考察、結語

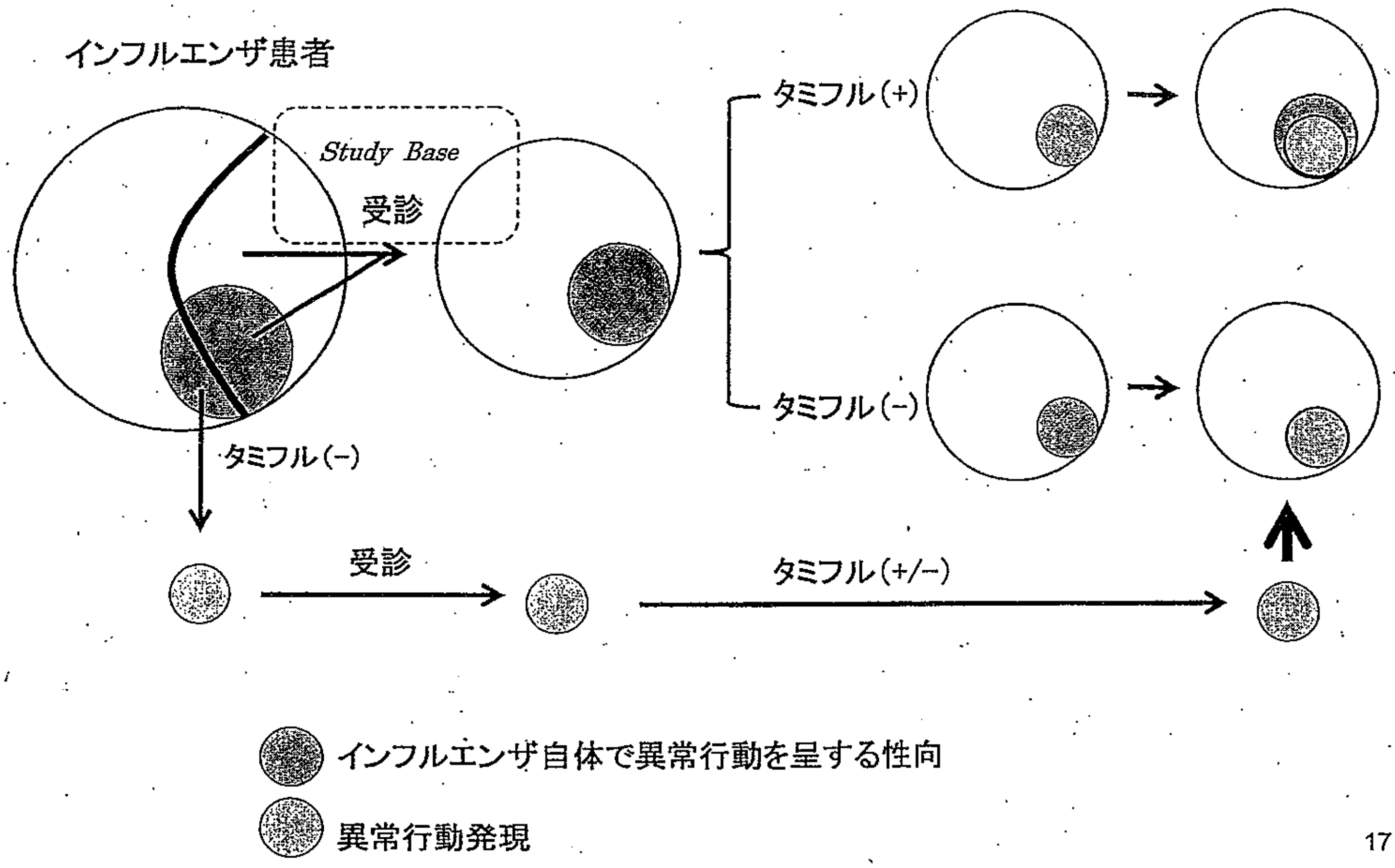
15



インフルエンザ自体で異常行動を呈する性向

異常行動発現

16



17

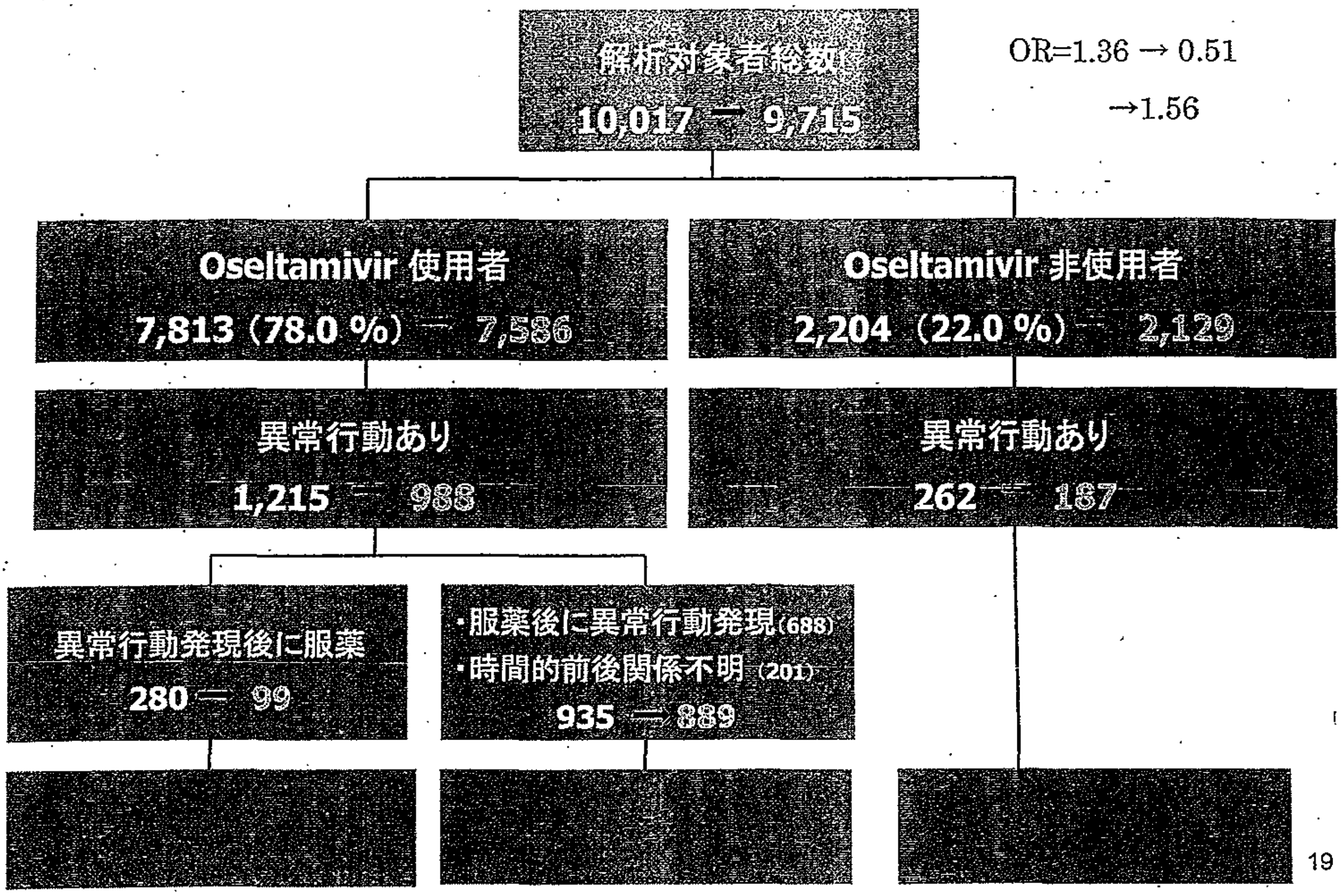
異常行動を発現後に受診した症例の除外理由

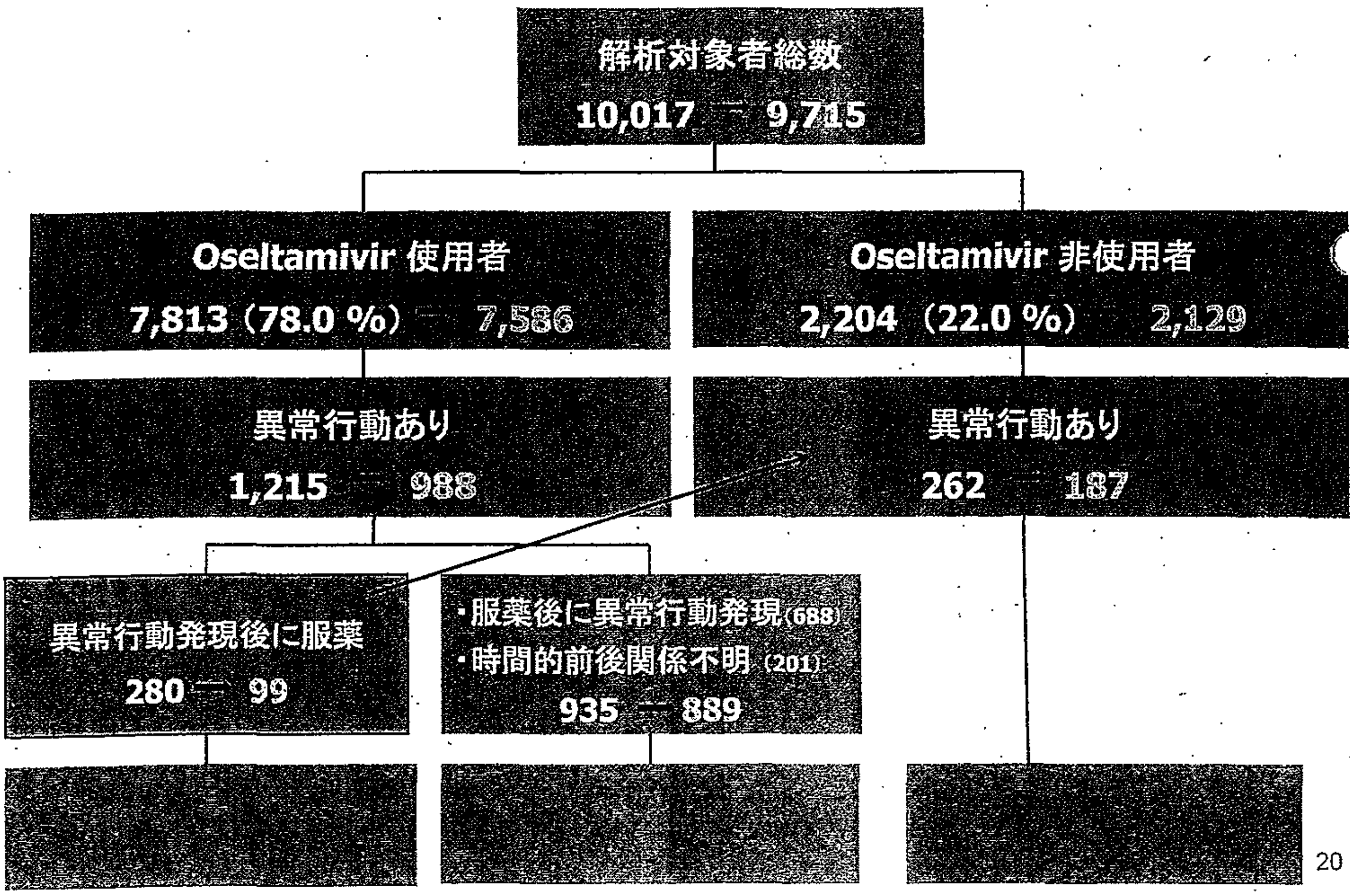
1. 本研究の "study base" に含まれない可能性

   (インフルエンザ自体の症状では受診しなかった、異常行動が起こったから受診した)

2. 通常、前向きコーホート研究では、対象の登録前に outcome を発生した症例は除外する

18


OR=1.36 → 0.51
→1.56
解析対象者総数
10,017 → 9,715
Oseltamivir 使用者
7,813 (78.0 %) → 7,586
Oseltamivir 非使用者
2,204 (22.0 %) → 2,129
異常行動あり
1,215 → 988
異常行動あり
262 → 187
異常行動発現後に服薬
280 → 99
・服薬後に異常行動発現(688)
・時間的前後関係不明 (201)
935 → 889
19


解析対象者総数
10,017 → 9,715
Oseltamivir 使用者
7,813 (78.0 %) → 7,586
Oseltamivir 非使用者
2,204 (22.0 %) 2,129
異常行動あり
1,215 988
異常行動あり
262 187
異常行動発現後に服薬
280 → 99
・服薬後に異常行動発現(688)
・時間的前後関係不明 (201)
935 → 889
20